

CSR REPORT 2012

私たちの仕事はその思想もカタチも、次代へと繋がり残るものだから
企業はもちろん全社員が、常に大きな社会的責任を担っています。

創業以来110余年、激動の時代を生き抜き

着実に成長を遂げてきた背景には

社会的責任とともに、全てのステークホルダーのみなさまに信頼され、

満足を感じ喜んでいただけることを

何よりの喜びと考える企業姿勢が存在しています。

森組は、社会や環境と共生しつつ、みなさまの喜びを喜べる企業として

堅実にかつ進取的に歩みつづけます。

JOY & JOY
喜びを喜びに



CONTENTS

目次

03 | トップインタビュー

05 | 健全な経営

経営理念／コーポレートスローガン／
経営方針／行動規範／コーポレートガバナンス／
コンプライアンス／リスクマネジメント

11 | 多彩な事業

建築・土木事業／リフォーム事業／砕石事業／
土壌汚染浄化事業／魅力あるまちづくり／

15 | 高い品質

ISO 9001の取得／品質目標と達成／
品質マネジメントシステム／優良工事表彰

17 | 確かな安全

安全衛生方針／安全衛生目標と達成／
労働安全衛生マネジメントシステム／
労働災害防止推進大会／
全国建設業災害防止大会優良工事表彰／
AEDの設置／安全衛生委員会／組織図

21 | 守りたい環境

環境方針／Mソイル／土壌汚染置換材／
ISO 14001の取得／骨材の新JIS認証取得／
環境目標と達成

25 | 望まれる社会貢献

緊急資材の配備／災害時活動地域協定／
地域社会とのコミュニケーション

27 | 責任ある社員育成

人事制度／人材育成／各種制度／福利厚生

31 | 森組 会社概要

会社概要／組織図／主要取引先／
IR情報／沿革／各支店・住所

編集にあたって…

森組のCSRへの考え方や活動について、できる限り簡潔に
表現し、わかりやすい誌面づくりに努めました。

このレポートが、ステークホルダーのみなさまと森組とのコミュニ
ケーションを図るツールとなれば幸いです。

みなさまが「森組について知りたいこと」、森組が「みなさま
へ伝えたいこと」を、このレポートにてお届けしたいと考えて
います。

対象期間

2011年4月1日～2012年3月31日

(一部対象期間以前、もしくは以後直近の活動内容も含まれています)

更新

2012年8月1日

株式会社 森組 CSR統括部

〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17

TEL:06-6222-5094 FAX:06-7732-4996

URL: <http://www.morigumi.co.jp>

東日本大震災をはじめ各地で発生した多くの災害によりお亡くなりになられた方々に対し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。また、今なお避難生活を余儀なくされている被災者の方々、ならびに関係者の方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。また、わたしたちは、建設会社として可能な限り、支援事業に協力する所存です。

これからの時代、わたしたち森組にできること

昨年は、震災をはじめ、息つく間もなく日本列島に襲来した台風12号・15号、世界的には、ニュージーランド地震、タイの大洪水など、今までに経験したことがない大規模な自然災害が、世界的に多く発生した年でした。

東日本大震災直後は、わたしたち森組の拠点や社員、およびその家族の無事を確認し、取引のあるお客様へのフォロー訪問を実施し、微力ながら復旧のお手伝いを行ってまいりました。僅かではありますが、日本赤十字社を通じて被災された方々への義援金の寄附も行っております。

また、本災害に端を発した、原発を起因とする放射能問題、電力供給不安、及びサプライチェーン問題等が次々と発生し、企業活動の根幹を揺るがしかねない社会的な問題として、あらゆるリスクを考えずにはいられない1年でもありました。

今、かつて経験したことがない困難な時代に直面し、わたしたち森組は、責任ある企業として、社会の要請をしっかりと受け止め、「何ができるか」、「何をすべきか」を見極め、わたしたちの企業活動を通じて皆様に貢献したいと考えております。

〔森組の4つの提案・築造〕

- ① 地震に強い地盤であること
- ② 揺れに強い構造体であること
- ③ 消費エネルギーの少ない設備を備えていること
- ④ 消費するエネルギーを自ら創り出せること



継続的な事業活動を通じて社会に貢献できること

わたしたちは、過去の様々な災害や事故を教訓に、緊急事態への対応を速やかに行い、危機を最小限に止める事を目的に、「緊急事態対応手順」を森組のマネジメントシステムに組み込み、運用を図ってまいりました。さらに、会社を挙げて対処するため、「危機管理委員会規程」を設け、どんな状況下でも組織的な活動ができるように、指揮命令システムを確立させております。さらに、定期的な防災訓練を実施することにより、社員の緊急時における対応の習熟度を上げ、混乱を早期に収束させる事を常に心がけるとともに、わたしたちの事業所のみならず、地域社会からの緊急要請に応えるために、「移動式緊急資材庫」や「AED」の配備を行うなど、地域に根ざした活動を実践しております。

今回、わたしたちは、震災を目の当たりにし、現在の体制をさらに強化し、あらゆる局面においても、「人財を最優先に考える体制」、「企業活動を継続できる体制」、「地域と共生し、地域に貢献できる体制」が確立できることを目指し、新たに事業継続計画(BCP)を策定いたしました。

今後は、内部統制活動と併せ、継続的な事業活動が出来る環境を創ってまいります。

長年培われた技術を存分に活かした、苦境を乗り越えるフロンティア企業。

ホスピタリティ溢れる人財を育む企業であり続けること

わたしたちが、ご提供する建設構造物は、一般的な家電商品や、自動車、家具等とは違い、より長い期間、皆様とともに過ごしていただくものばかりです。それゆえに、わたしたちは、完成するまでの「企画・設計」、「工事」といった各プロセスの中で、その建設構造物が、「皆様のライフサイクル(住生活)」、「自然とのハーモニー(調和)」、「災害に対するディフェンス(防御)」、「省エネルギー仕様」等が、最適な性能、品質、美観・景観を備えているかどうかを絶えず検討し、最も喜ばれる「形」にしてお引き渡しできるように活動しております。

特に「工事」プロセスでは、利用していただける地域の方々や、お住まいになる方々等と積極的に意見交換を行い、その地域の風習や風俗に身を置き、周辺の自然とふれあい、その地域の環境すべてと一体となって工事を進めるよう常に心がけております。

そしてその結果、数十年先に、わたしたちがご提供した建設構造物が、その舞台となり、様々な「ヒューマンドラマ」や「ネイチャーロマン」がそこで展開され、新しい地域社会を形成していくであろうと思うと、想像するだけで心が躍ります。

わたしたち森組がこれからも、持続的成長ができる企業として、さらに発展していくためには、地域や自然と共生できる建設構造物をいつの時代でも提供できる、そんな企業でありつづけたいと考えております。そして、そんな魅力的な建設構造物を創り上げる為には、創造力豊かな、地域社会や自然環境に思いやりをもって接することができる、ホスピタリティ溢れる人財を育成し続けてまいりたいと考えております。

時代の要求する「価値」を常に先取りする企業であること

昨年、わたしたちは、「消費エネルギー型社会から再生エネルギー社会へ」、「環境調和型の社会資本整備へ」と時代は変化していくことを予見し、マクロな視点で企業活動の見直しを行い、将来に渡って持続的成長を遂げる姿を創生していくことを宣言いたしました。

今や、予見したとおり、時代とともに、建設事業に求められる「価値」は、確実に変化を遂げております。この変化に対応できない企業は、衰退の一途を辿り、確実に淘汰されることは間違いありません。

社会情勢、経済状況が刻々と変化する激動の時代ですが、わたしたちは、ひとつひとつの着実な取り組みで社会的責任を果たしてまいります。また、今後とも皆様とともに、「感動を得られる企業」を目指していく所存ですので、わたしたちの活動をご覧いただき、ご理解の上、ご指導ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

村上 和朗



図-1 事業協力体制

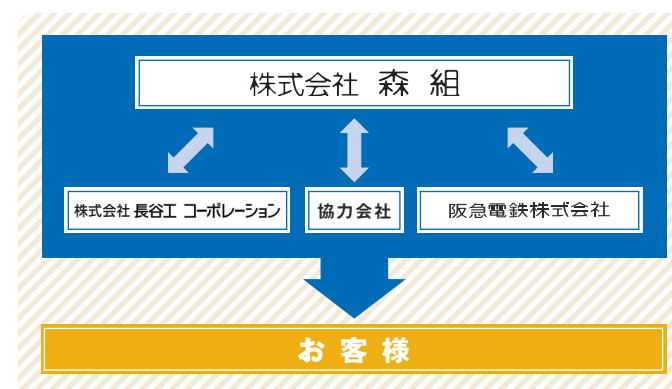
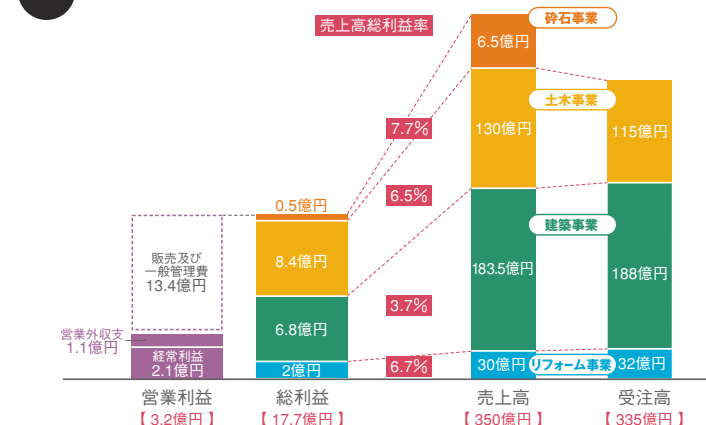


図-2 80期業績目標





JOY & JOY 信頼を喜びに

100年の後も、変わらないこと。
この100年、変えてきたこと。

信頼されることは、何よりの喜びです。

新しい時代に合わせて刷新してきた技術や理論、合理性の追求。

社会のニーズに応じて創造してきた居住空間や都市空間。

自由自在に変化を遂げたもろもろの一方で、

草創期より変わることのない、堅実経営の理念があります。

誠実に、真摯に、着実に…ちょっと硬いこの姿勢こそが

森組が信頼され続ける由縁です。

経営理念

最高の品質と 最良のサービスで、 お客様の感動を

私達は、持てる技術・業務に常に磨きをかけ、
お客様の要望に的確にお応えするよう歩み続けます。

そしてお客様が、私達の提供するモノ、
サービスにこの上ない満足をお感じになり喜んで頂けることを、

私達の最大の喜び・明日への糧とし、

さらにこれらの行為を通じて
社会に貢献する企業であることを目指します。

コーポレート
スローガン

JOY & JOY

喜びを喜びに

経営方針

1. 将来を見据えた人材育成
2. たゆまぬ努力による品質の保持・管理
3. 全社を挙げての事故・災害の撲滅
4. 適切なコスト、適正な価格の追求
5. 遵守事項の厳格運用
6. 地球環境との共存共生

行動規範

1. **Change** 守旧を打破する変革邁進
2. **Create** 智慧を絞った改善提案
3. **Challenge** 視野を広げて積極挑戦
4. **Communicate** 内外も縦横斜めも意志疎通
5. **Speed** 待ったなしでの迅速行動

安全と信頼が何より優先される企業

全てのステークホルダーのみなさまが安心して暮らせる社会のために、森組は安全と信頼が何よりも優先される企業であるべきだと考えています。その観点から、迅速経営と効率性・透明性の追求を基本的考えとし、コーポレートガバナンスの改革を推進しています。

具体的な取り組み

1 執行役員制度の導入

迅速な意思決定、
企業経営の効率化を目指します！

経営の意思決定・監督機能と業務執行機能を分離。取締役会においては主に中長期的経営戦略の立案及び経営方針の意思決定を行い、業務遂行においては執行役員が責任を持って実務にあたります。

2 社外監査役を選任

経営の妥当性・効率性を監査、
企業の健全性確保に努めます！

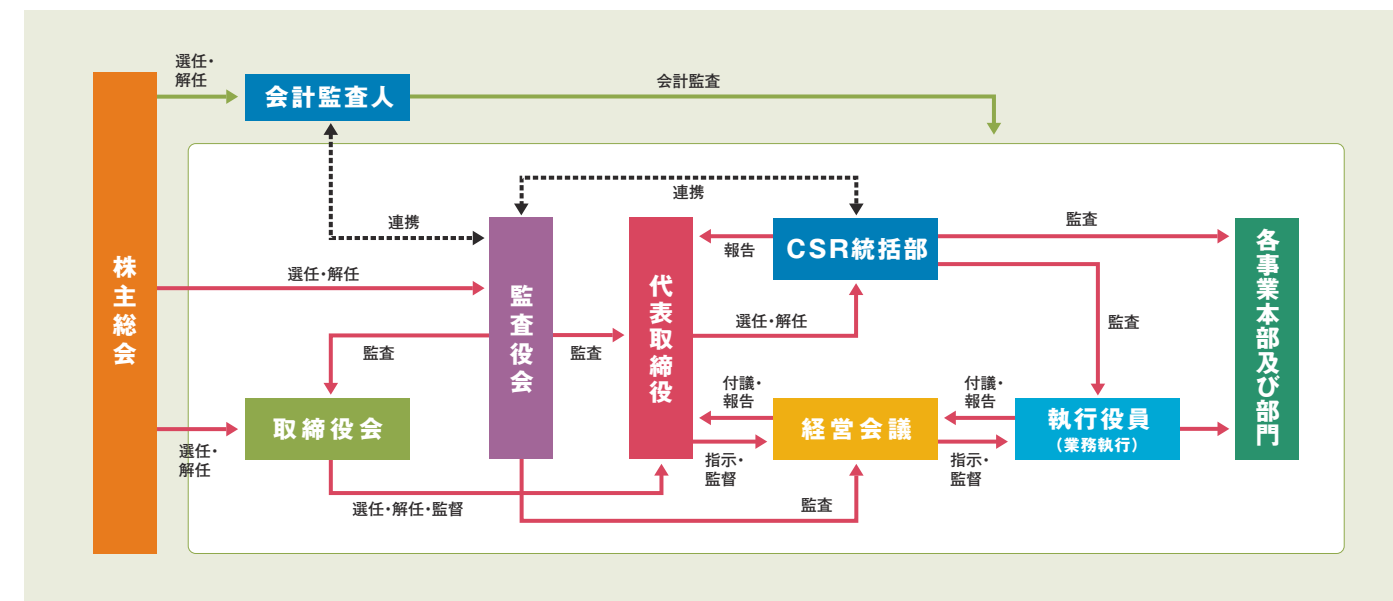
社外監査役として2名を選任、経営の監視面において客観性の確保が十分機能する体制を整えています。森組が社会の一員として適正な活動を行っているかを第三者の目で監視しています。

3 監査法人による外部監査の実施

信頼される健全な経営と透明性に努めています！

会社法及び証券取引法等の会計に関する監督強化のため、監査法人を会計監査人として採用しています。大手監査法人のひとつである「有限責任あずさ監査法人」が株主総会で選任されています。

コーポレートガバナンス体系図



内部統制システム強化への取り組み

森組では2006年5月開催の取締役会において「内部統制システム整備に関する基本方針」を決議して2008年3月に改訂を行い、この方針に基づいて適切な運営に努めています。

また、基本方針については毎年見直しを行ない、健全なシステムの整備に取り組んでいます。

〔 内部統制システム整備に関する基本方針 〕

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合すること、並びに業務の効率性の確保及びリスクの管理に努め、社会経済情勢、その他環境の変化に対応するため、内部監査部門を設置し、内部監査を含め内部統制システムの検証と評価を行います。

具体的体制の整備

● 適当なことを確保するための体制

- コンプライアンス研修の実施
- 内部通報制度の設置
- コンプライアンス経営を脅かす重大事象発生時の検討委員会の設置
- 社長直轄の内部監査部門（CSR統括部）の設置と内部監査の実施

2 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

- 文書の保存・管理に関する規程に従う適切な保存と管理

2 損失の危機の管理に関する規定その他の体制

- 子会社も含めたリスクの想定・分析と不測事態発生時の緊急連絡体制の整備
- 重大リスク発生時に損害の最小化を図る「危機対策委員会」の設置

取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- 重要な業務執行は経営会議の審議を経て取締役会で決定
- 権限と責任の所在と執行手続の詳細を定め、重要な業務執行は取締役会に報告
- 業務のIT化を推進し、その進捗状況等の内部監査の実施

5 企業集団における業務の適正を確保するための体制

- 子会社に関する責任取締役を任命し、内部統制整備状況を内部監査部門に報告

**6 監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項及び
その使用人の取締役からの独立性の確保に関する事項**

- 監査役の必要に応じて、監査役の職務を補助すべき使用人を配置
- この使用人の独立性確保のため、異動・評価等に関して監査役と協議

7 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制、その他監査役への報告に関する事項

- 監査役出席の取締役会及び経営会議において重要事項の報告を行い、取締役と監査役の意見交換会を別途開催

財務報告の信頼性を確保するための体制

- 取締役会は、財務報告とその内部統制に関し、代表取締役社長を適切に監督
- 代表取締役社長は、本基本方針に基づき、財務報告とその内部統制の構築を行い、その整備・運用を評価

コンプライアンス（法令遵守）

信頼される企業であるために、 まず私たちがやらなければならないこと

森組は誠実な心と思いやりの気持ちが信頼に繋がるのだと考えています。そのために私たちがやらなければならないことを従業員一人ひとりが考えて行動する。森組は社会の一員として、法令及び定款、規程、企業倫理等に背くことのないコンプライアンス経営を徹底して推し進めます。

具体的な取り組み

1 推進組織 ～CSR統括部～

森組は企業としての社会的責任を果たし、より豊かな社会を次世代の人々に継続して引き継ぐサステナビリティを目指すためにCSR統括部を設置しています。
CSR統括部では文字通りの役割のほかに、コンプライアンスを推進し、従業員への意識づけはもちろんのこと、各部署の責任者や役職員に対しての指導や教育にも重要な役割を担います。

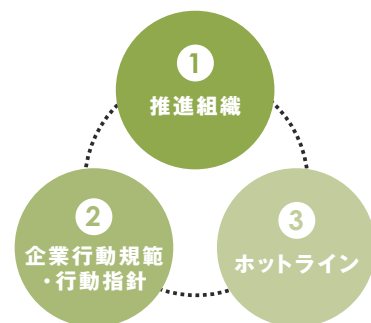
2 企業行動規範・行動指針

公正な競争、接待や贈答、公務員との関係など、ステークホルダーのみなさまの信頼を得るために従業員全員が守っています。
また、役職員を対象にしたコンプライアンス研修も実施し、行動規範・行動指針の実践を指導しています。さらに管理職以上の役職員はコンプライアンスの遵守を誓約しています。

3 ホットライン ～相談窓口を設置～

内部通報（相談）窓口を設置し、従業員からの業務上の相談を受けつけて迅速に対応する体制を整えています。従業員の日常業務の中で組織的、または個人による法令等違反行為・反倫理行為（社内規程・ルールを含む）が行なわれた場合、またはその恐れがある場合に通常の業務ラインとは別に通報・相談することができる窓口です。

＜推進のための基本体制＞



情報管理への取り組み

情報管理への取り組み

- 個人情報管理規程を制定
- 電子情報セキュリティ委員会を設置
- 電子情報セキュリティ啓蒙活動の実施
- 電子情報セキュリティ管理規程の制定と定期的な見直し

個人情報の保護

森組では個人情報保護方針（プライバシーポリシー）を定めウェブサイトに掲示し、個人情報の取得及び森組が有する情報の管理や取り扱いについて、管理規程を定めて個人情報の保護に取り組んでいます。

電子情報セキュリティ

インターネットや超小形記録媒体など、昨今の電子情報伝達ツールの普及に伴い、企業の管理する電子情報が漏洩・盗難されるという事件が多発しています。
森組では「電子情報セキュリティ委員会」を設置するとともに、イントラネット等を利用して電子情報の取り扱いや漏洩・改ざん防止について定期的に啓蒙活動を行なっています。また、定期的に「電子情報セキュリティ管理規程」を見直し、高いセキュリティレベルの維持に努めています。

リスクマネジメント（緊急事態対応）

緊急事態に対応する体制の構築が 森組が果たすべき社会的責任です。

森組の企業活動の中でお客さまに提供する「最高の品質と最良のサービス」をとりまく環境は、常にあらゆる緊急事態が発生するリスクをはらんでいます。ひとたび大きな緊急事態が発生すれば会社経営を圧迫し、存続の危機に陥るばかりではなく、社会に極めて重大な影響を及ぼす可能性があります。森組はこの緊急事態に対応する体制を整え、速やかに対処できる仕組み作りを進めています。また、大規模災害等発生時に備え、BCP「事業継続計画」を策定しています。

緊急事態に対する備え

緊急事態とは、「事故」・「公衆災害」・「労働災害」の非常時をいい、発生の予測できる非常時（大雨・暴風等）と発生の予測がきわめて難しい非常時（地震・火災・人的ミスによる事故等）に二分されます。予想される事態に対して、適時対策、日常対策を行うことにより、緊急事態に対する事前の備えとします。

1時間ルール

普段より緊急連絡体制を確立して事故や災害が発生した場合には、1時間以内に会社のトップまで報告することを義務付けた「1時間ルール」を実行しています。

緊急体制

事故（災害）の程度により、段階的に以下の本部を設置します。

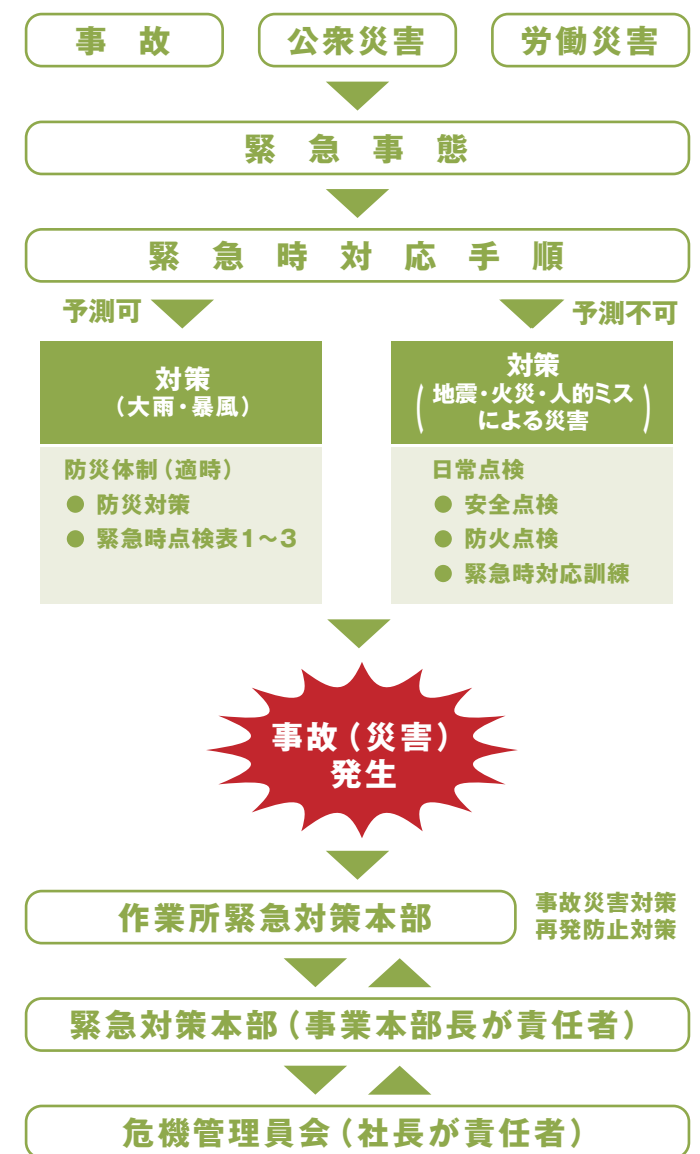
- 1.作業所対策本部
- 2.緊急対策本部（責任者：事業本部長）
- 3.危機管理委員会（責任者：社長）

又、以下の対策班を設置します。

- 被災者対策班
- 近隣対策班
- 官公庁関係対策班
- 事故処理対策班
- 報道関係対策班

BCP「事業継続計画」の策定

- 生命の安全確保と安否確認
- 組織体制と指揮命令系統
- 重要拠点の確保
- 重要データのバックアップ
- 本店および設備の災害被害軽減
- 財務手当
- 緊急資材等の備蓄





JOY & JOY 人々の笑顔を喜びに

何よりも上質を重んじる。
社会資本と暮らしを支える。

快適生活や交通・物流などに欠かせない都市インフラ整備。

豊かな都市生活や産業の発展・維持に貢献する建築物。

建築・土木・開発・管理など森組が手がける多彩な事業の基本にあるのは、
最高の品質と技術力を惜しみなく注ぐ姿勢。

安全と信頼が見える事業によって人々の笑顔は生まれます。

たくさんの笑顔に出会えることが、私たちの喜びです。

社会的責任を果たす森組の事業

安全と信頼は1899年の創業から
一貫して変わらぬ森組の社会的責任です。

森組は建設事業に携わる企業として、社会的責任の重さを日々痛感しています。都市インフラ整備は時として環境問題と密接に関係し、また、暮らしを支える安全という観点において私たちの事業が担う責任も重大です。「人々が安心して生活できる社会を創造する」それが私たちの社会貢献であるという経営理念。この思いを喜びとしながら、同時に社会的責任を果たす企業でなければならないと森組は考えています。

建築・土木事業

経営理念に掲げる 「最高の品質と最良のサービス」

ステークホルダーのみなさまとの信頼関係を全てのプロジェクトの基盤と考え、施工に当たり情報開示するのみならず、見学会を開催するなど情報の発信にも努めています。また、安全と品質の管理を徹底し、利用する人々が安心して暮らせる社会を創造します。



レジデンシャルステート北綾瀬パークビュー（東京都）▲

砕石事業

ゼネコンと砕石業界のネットワークを構築し、資源の有効活用に努めています。

建築・土木事業において自然の恵みを採取して活用することは、避けられない行程であり、大切な経営資源です。だからこそ、これらの恵みを大切に使い、そしてまた自然にかえすことは私たちの責任ある重要な事業のひとつです。兵庫県西宮市生瀬に所有する砕石所では、幅広い商品群とリサイクル改良土などの生産を行い（P22・24参照）、限りある砕石資源の有効活用と安定供給に貢献しています。



生瀬砕石所（兵庫県）▶

リフォーム事業

リフォーム工事の分野でもゼネコンのノウハウと技術力で活躍しています。

建物に求めるデザイン性や機能性は、お客様のビジネスシーンやライフスタイルに合わせて変遷します。森組は多様な工事で培われた豊富な経験をもとに、今ある建物に新たな役割を与えるリフォーム工事を通じて、建物の再生に貢献しています。



▲ 宝塚ホテル山間自動車道三木SA改修（兵庫県）



第一ホテル東京（東京都）▲

土壌汚染浄化事業

環境ソリューションの事業展開を目指しています。



▲ オンサイト洗浄プラント&システム

土壌汚染対策法が2003年2月に施行されたことを契機に、空気や水の汚染と同様に土壌の汚染の問題がクローズアップされてきています。森組では建築・土木・砕石の各々の技術・ノウハウを集積し、明日の世代へ住み良い環境を残すために、土壌汚染調査から対策の提案・施工、さらにはその後の土地の有効利用の提案まで含めたトータルサービスを提供しています。

に、土壌汚染調査から対策の提案・施工、さらにはその後の土地の有効利用の提案まで含めたトータルサービスを提供しています。

森組が活躍する 魅力あるまちづくり

森組は生活・教育・文化・福祉・商業・スポーツ・エネルギー関連など、
さまざまなシーンで、人々の暮らしを豊かにする事業を展開しています。

土木部門
施工実績紹介ページ

護岸



湊紺屋町地区堤防強化 (和歌山県) ▲



石神井川整備 (東京都) ▲

道路



舞鶴若狭道 美浜IC (福井県) ▲

トンネル



舞鶴若狭道 気山トンネル (福井県) ▲

教育施設



岩出中学管理棟 (和歌山県) ▲

商業施設



東宝舞台 岩槻製作所 (埼玉県) ▲



ライフ春日野道店 (兵庫県) ▲

建築部門
施工実績紹介ページ



BEFORE



AFTER

田原本東小学校耐震補強 (奈良県) ▲

福祉施設



▲老人ホーム奈良桃寿園 (奈良県)

造成



彩都E3整備 (大阪府) ▲

住宅施設



府営豊中新千里東住宅 (大阪府) ▲



グランアッシュ池田室町レジデンス (大阪府) ▲



メルディア平井 (東京都) ▲

MORI TOWN



JOY & JOY 品質を喜びに

信頼に、最高の品質で応える。
それが、私たちの誇り。

日々進化してゆくテクノロジーに、最高の品質と
高度な技術に支えられた専門性で対応します。
道路、下水道、教育・福祉施設、商業施設、マンションなど
私たちが手がけるのは、何よりも安全性が問われる建造物。
誠実・堅実・真面目をモットーに、
安心の社会と暮らしをお届けできるのは、大きな喜びです。

確かな技術と品質

森組が目指すのは最高の品質と最良のサービス！

森組の品質方針は経営理念そのものです。私たちは経営理念を具現化するため、お客さまのご要望にお応えできる品質マネジメントシステムの確実な実践とその継続的改善に努めています。創業以来110余年にわたる技術の蓄積と経験に裏付けされた豊かな提案力と確かな施工力を結集してお客さまのご満足を実現いたします。

経営理念

「最高の品質と最良のサービスで、お客様の感動を」

私達は持てる技術・業務に常に磨きをかけ、
お客さまの要望に的確にお応えするよう歩みつづけます。
そしてお客さまが私たちの提供するモノ、サービスにこの上ない満足
お感じになり、喜んでいただけることを私たちの最大の喜び・明日への糧とし、
さらにこれらの行為を通じて社会に貢献する企業であることを目指します。

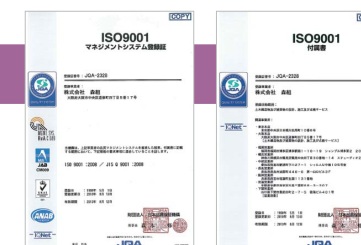
品質方針

- 1.法規制の遵守及び品質マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- 2.当社社員に品質方針の周知を図ります。
- 3.品質方針を達成するために関連部署は「品質目標」を掲げ実施します。
- 4.品質方針・品質目標は適切性の持続の為に定期的に見直します。

ISO9001の取得

品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001:2008を取得し、土木構造物及び建築物の設計、
施工及び点検サービスなど全社で積極的な改善活動に取り組んでいます。

ISO9001登録証 ▶

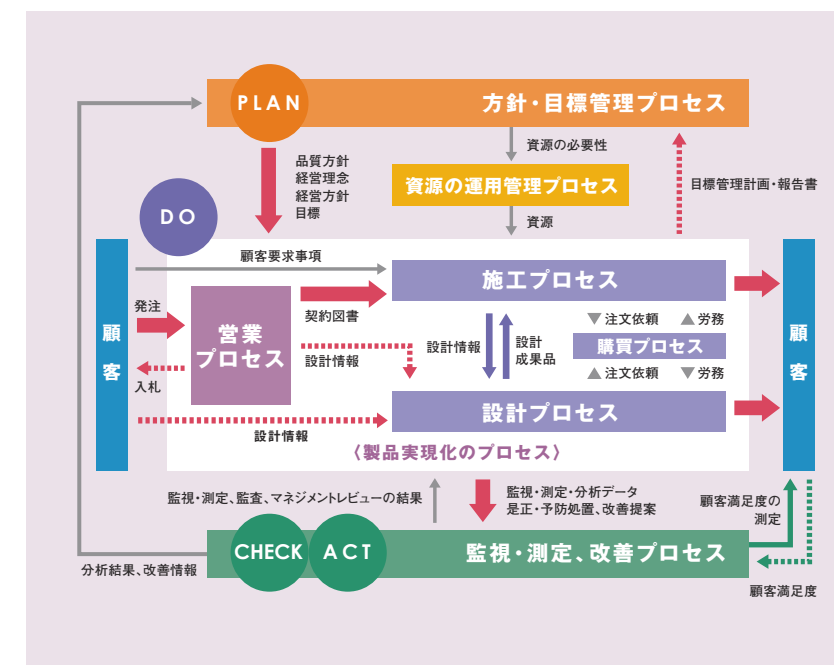


森組の2011年度 品質目標と結果

品質目標と結果

森組では土木部・建築部それぞれが2011年度内に完成する全現場を対象に、工事の優れた完成度や顧客満足度について
の目標値を定めて品質向上に努めた結果、完成現場で目標値をクリアすることができました。

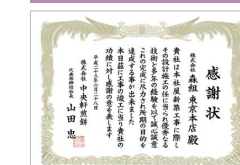
品質マネジメントシステムの相互関係



優良工事の表彰

建築・土木・リフォーム工事において
完成度の高さを評価され、
感謝状を頂きました。

株式会社 中央軒煎餅
本社屋 新規工事
【2011年6月28日】



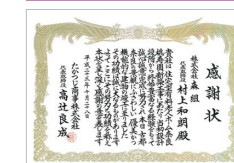
シャルマンフジ羽衣
大規模修繕工事
【2011年5月15日】



舞鶴若狭自動車道
気山工事
【2011年3月24日】



奈良桃樹園
新規工事
【2011年10月28日】





JOY & JOY 安心を喜びに

高い安全意識で守られた環境。
それを、ごく当たり前として。

私たちのすべての現場で、安全衛生目標が厳守されています。

森組が取り組む労働安全衛生マネジメントシステムは、

働く立場の人間はもちろん、周辺住民のみなさまや

たくさんのステークホルダーのみなさまに

安心と感動、喜びを実感していただく必要不可欠の要素。

安全対策の確立と実施は、大きな信頼と理解に繋がります。

喜びと信頼を生む安全

森組の2011年度 安全衛生目標と結果

安全衛生目標と結果

森組では2011年度の労働安全衛生目標として、“「災害ゼロ」を目指す、快適な職場環境・労働環境づくりを推進する”をスローガンに安全活動を展開いたしました。その結果、死亡災害等の重大災害は発生していませんが、休業4日以上の労働災害は昨年と同様残念ながら1件発生しました。

〔参考〕2011年度 度数率 0.6 2010年度 度数率 0.58
※2009年度 度数率 0.48

※度数率とは…労働時間100万時間あたりの労働災害による死傷者数

安全衛生方針

私たち森組は、体系的・組織的に実施する労働安全衛生マネジメントシステムを安全衛生管理の基本として、『安全第一』を活動方針とし、働く人々が安心できる安全衛生環境の向上と整備に努め、社会から信頼と共感をもって受け入れられる企業を目指します。

改善

2012年度の推進事項

2011年度の結果を踏まえ、2012年度は次の5点をさらなる重要実施事項として、安全で安心できる快適な職場環境の整備を行います。

- 1 前年度型別上位災害防止対策
- 2 建設機械・クレーン等災害防止対策
- 3 第三者災害防止、その他主要災害防止の取り組み
- 4 労働環境・職場環境の充実に関して
- 5 教育訓練の実施

2012年 スローガン

- ・リスクアセスメントを徹底し『災害ゼロ』を目指す
- ・快適な職場環境・労働環境づくりを推進する

2012年 安全衛生目標

- ・死亡・重大災害ゼロの継続（三大災害の絶滅）
- ・事故・災害発生件数の30%減少（前年度比較）

2012年度 安全衛生目標達成のための施策

[1] 前年度型別上位災害防止対策

- 1 飛来・落下災害防止対策
足場上の作業での措置（2009年6月法改正）の厳守、物体の落下防止措置として、幅木10cm以上又はメッシュシート・防網を設置するか、立入禁止区域を設定するかの措置を確実に講じること。
- 2 熱中症予防対策
昨年度は全国的な異常気象の為、全国での熱中症での死亡災害は増加傾向にある。当社では重症で無いものの4件（前年4件）と同じ発生件数となった為、本年度は特に6月から9月の間を熱中症防止強化期間としてWBG値測定及び現地KYカードを活用して熱中症災害ゼロを目指す。

[2] 建設機械・クレーン等災害防止対策

- 1 建設機械・クレーン等のオペレーター対策
現場に長期間常駐するオペレーターの資質を識別（注意力・意識集中能力等）測定する検査（新ブルドン抹消検査）を実施してオペレーターの適正配置を推進する。
- 2 建設機械・クレーン等の作業従事者の携帯電話・喫煙の禁止
建設機械・クレーン等作業従事者（オペレーター・合図者・玉掛け者・指揮者・監視員）による、本人不注意（ヒューマンエラー）による労働災害及び第三者事故・災害を無くす為、運転中・作業中の携帯電話の使用と喫煙を禁止する。
- 3 固定式クレーン・タワークレーン・移動式クレーンの点検確認強化
全現場統一通達書（2011.3.10）での固定式クレーンの点検方法の統一と、タワークレーン・移動式クレーンの監視員配置を徹底する。

[3] 第三者災害防止、その他主要災害防止の取り組み

- 1 森組現地KYカードの活用
作業員一人一人が不安全行動やヒューマンエラーを無くす為、全作業員が現地KYと指差呼称の重要性を再認識し「森組現地KYカード」を活用し労働災害を無くす。

- 2 クレーンの定格荷重を90%以内として計画・実施する
今期は特に定格荷重の表示を90%以内（緑色ランプ）として、オペレーター・合図者が連携し警戒値以内での作業を実施し安全作業に努める。
- 3 クレーン作業時に於ける玉掛ワイヤーの外れ防止対策
「知恵の輪現象」「背抜け現象」の防止を推進するため、フックから玉掛けワイヤーが外れるメカニズムを現場で危険予知し、吊り治具の改善・創意工夫を行い安全作業に努める。

[4] 労働環境・職場環境の充実に関して

- 1 メンタルヘルスケア対策の推進
毎月の安全衛生委員会等で時間外労働時間の増加者に対しての対策推進の確認を実施し、社員（特に現場技術者）に対して、メンタルヘルスケア対策の推進を図る。
- 2 協力会社経営者安全パトロールの強化促進
（株）森組・MOST会を通じ協力会社経営者安全パトロールを実施しているところであるが、更なる強化を図るため、用紙の常時配備、事務局への報告等を通し店社と協力会社が連携を図りゼロ災害を達成する。
- 3 安全管理活動を通じて社会から認められる会社を目指して
2011年度から開始された厚生労働省「安全プロジェクト（2012.2.23掲載）」に参加し、当社の安全に対する取り組みを公表し、災害ゼロから危険ゼロへの取り組みを推進していくこととする。

[5] 教育訓練の実施

- 1 送り出し教育と新規入場者教育の重要性
建設現場において、新規入場から7日間の被災率を見ると新規入場者が被災する率が40%と多いため事業者（協力会社）は未経験者に対して、送り出し教育と新規入場者教育を徹底すること。
- 2 緊急時対応模擬訓練の実施
2011年2月17日付で改訂した、緊急事態対応手順テスト（訓練）の実施要領に基づき、年1回実施すること。且つ事前に訓練内容を安全統括部へ報告・協議すること。（近隣土士の作業所は合同でも可）

喜びと信頼を生む安全

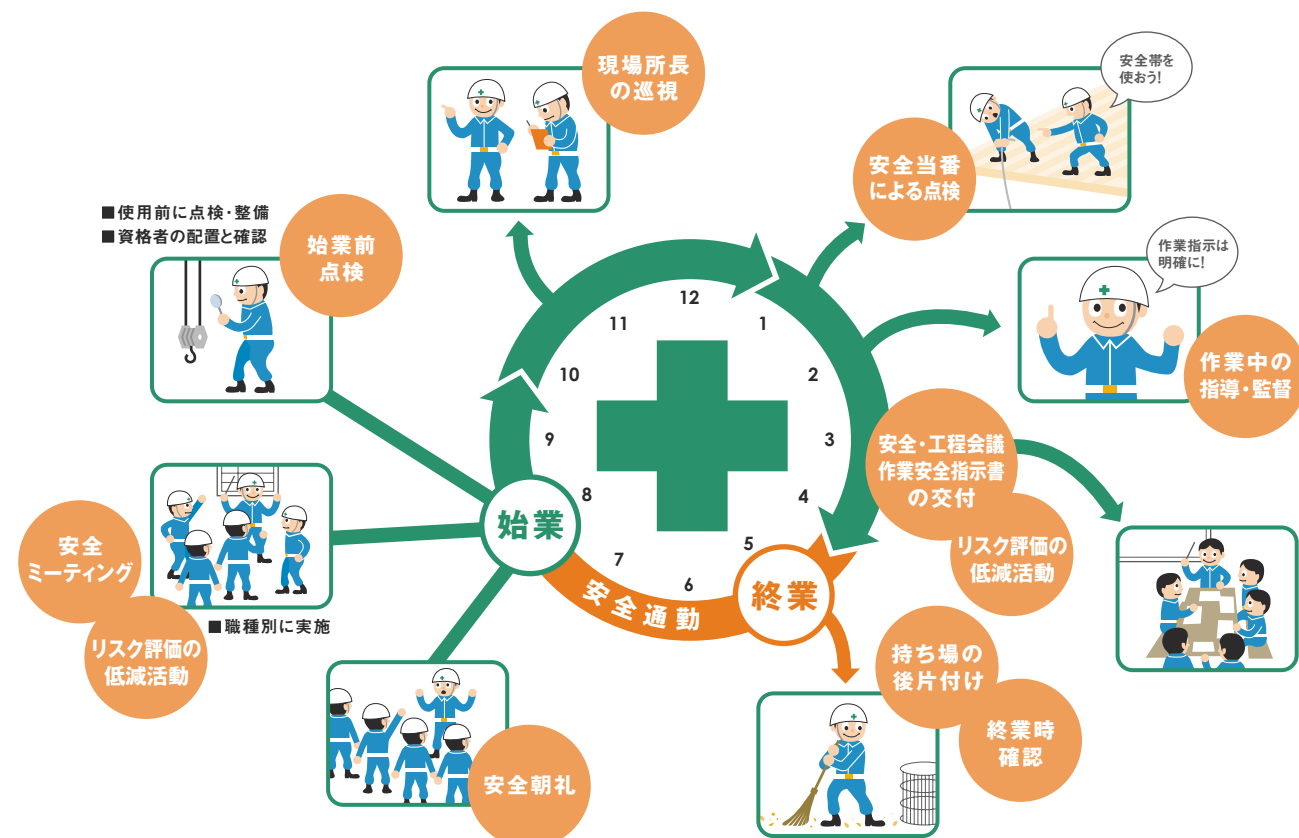
労働安全衛生マネジメントシステムへの取り組み

- 1 労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、システムが円滑に運用されるよう基本的事項を具体的にまとめて全従業員に周知しています。
- 2 システムの運用にあたっては方針・目標を定め「リスクアセスメント」を基本に安全衛生管理計画を策定し、運用しています。
※リスクアセスメントとは・・・安全を妨げる要因を特定し、それらを分析して評価すること
- 3 問題点の把握・是正処置を行い、継続的な改善を実施します。

システムの メリット

- 1 安全衛生管理・活動の確実性と効率性が図れる。
- 2 安全衛生活動に関する日常の地道な活動が公正に評価されることに繋がる。
- 3 健全性、信頼性のアップに繋がる。
- 4 安全衛生水準の連続的、継続的な向上が図れる。

現場における1日の安全施工サイクル



労働災害防止推進大会の実施

当社は、森組・MOST会共催による「労働災害防止推進大会」を大阪・東京において社長をはじめ、中央安全衛生委員長、役職員、協力会社が参加して毎年開催しています。本年は、社長の挨拶、MOST会の挨拶、労働基準監督署からの祝辞をいただき大会安全宣言をしました。その後、優良現場表彰、優良協力会社表彰、優良協力会社従業員表彰に続いて特別講演等が行われました。

MOST会 とは

森組と協力関係にある企業のみなさまの会（正会員106社）。
双方の発展に寄与することを目的とし、環境・安全活動や技術力の向上に向けての諸活動を行なっています。



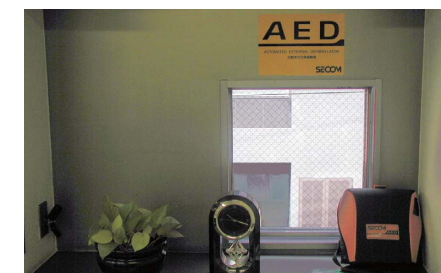
第33回労働災害防止推進大会（大阪）▲

第48回全国建設業労働災害防止大会



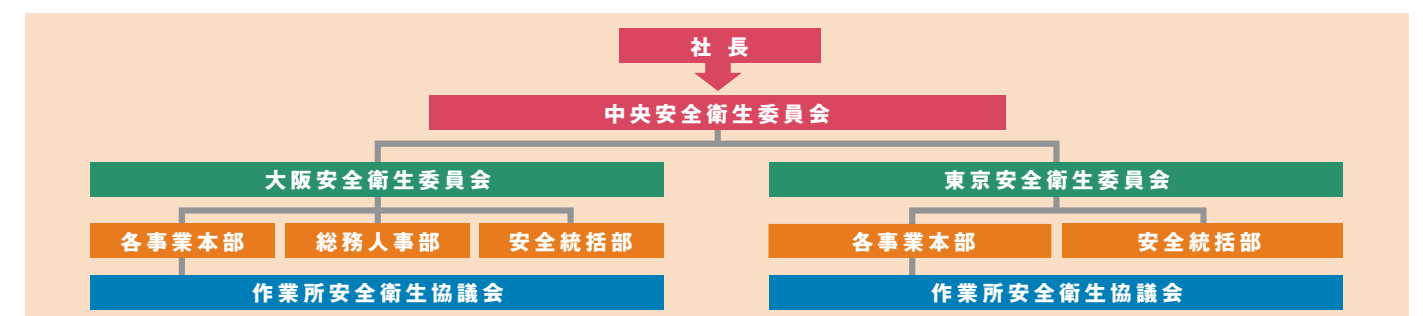
「第48回全国建設業労働災害防止大会」（広島県開催）にて名誉ある優良賞を授与しました。【優良賞（工事現場：全国88現場、大阪表彰7現場）】

AEDの設置



AEDとは、Automated External Defibrillator（自動対外式除細動器）の略称で、救命処置のための医療機器です。2004年7月より、AEDの使用が一般市民にも認められるようになり、人命救助の観点から当社でも社内に設置しています。また、作業所にもAEDを設置済みで実施訓練を行っています。

安全衛生委員会 組織図





JOY & JOY 自然保護を喜びに

地球環境に配慮しながら、自然と共によりよく生きる。

美しい風景や大空、澄んだ水をいつまでも残したい。
誰もが願う中で、いま地球の症状は深刻化するばかり。
私たちにできることは、限られた資源を大切に有効に使うこと。
そして次世代にツケを残さない、持続可能な社会を目指して
新しい視点で創意工夫をすることです。
森組は地球環境との共存共生をキーワードに活動しています。

限りある資源と共生するエコプロジェクト

自然に感謝する気持ちを大切に・・・

森組は「地球環境との共存共生」を環境方針のテーマに据え、建設事業を営む私たちにこそ発揮できる地球環境への貢献に日々挑戦し続けています。

環境方針

『地球環境との共存共生』

森組は、「地球環境との共存共生」をキーワードに、関係する法令等を遵守し、環境に配慮した活動により環境への負の影響低減を計り、さらにプラスになる活動を促進させる創意・工夫を行い、かつ、これらの活動を継続的に改善実施することで、よりよい地球環境の保全を目指します。

- [1] 地球環境保全活動を推進していくための環境マネジメントシステムを確立運用し、継続的な改善を図ります。
- [2] 環境に関する法令・協定を遵守し、必要に応じて自主基準を策定し実行します。
- [3] 環境保全活動を推進するために以下の項目に取り組みます。
 - ① 建設廃棄物の削減とリサイクル及び周辺環境に配慮した施工。
 - ② 環境に配慮した設計の推進。
 - ③ 用紙の使用削減・リサイクル・グリーン調達・廃棄物分別及び省エネルギーを配慮したオフィス業務に取り組みます。
 - ④ CO2削減活動を通じて電力・石油資源の使用量を削減します。
- [4] 当社全役職員及び当社で従事する全ての人々に対して環境方針の周知を図ると共に協力会社に本方針の周知と協力を要請します。

Mソイル

碎石スラッジ(脱水ケーキ)に、セメントを適量添加混合し、造粒・安定処理化した施工性に富む改良土がMソイルです。「碎石スラッジの資源化」をテーマに研究開発を行い、低価格・高強度な改良土「Mソイル」の製造技術確立して参りました。リサイクル理念に基づき、お客さまのご要望に応えられる新しい路盤材を提供します。

※碎石スラッジ(脱水ケーキ)とは・・・碎石製造プロセスから排出される土・岩石の微粉末で碎石として利用できない副産物。

1

環境に配慮した製品

- 原料は自然界にある岩石で碎石製造の際に発生する微粒粉のため無害(第三者機関による土質分析済)
- 副産物の再利用化

2

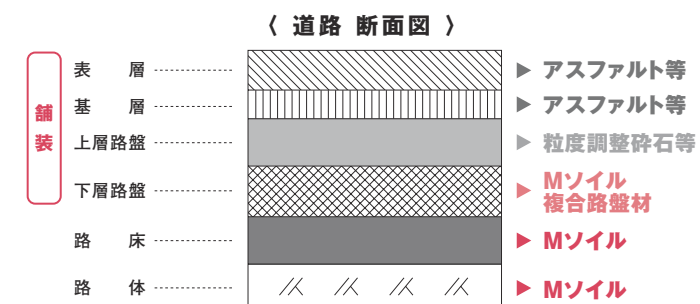
高強度かつ良好な施工性

- 道路用路盤材として規格値をクリア
- 粒状のため、締め固めしやすく、施工性が良好
- より強度の高い路盤材の提供が可能(セメント量の増加、クラッシャーランとの混合)
※クラッシャーランとは・・・原石を砕いたままの碎石

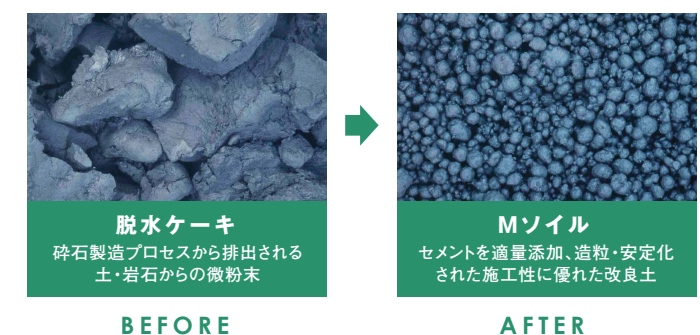
3

低価格な製品の提供

- 碎石製造の際に発生する副産物を原料とするため、低価格で提供可能



〈リサイクル改良土 Mソイル〉



BEFORE

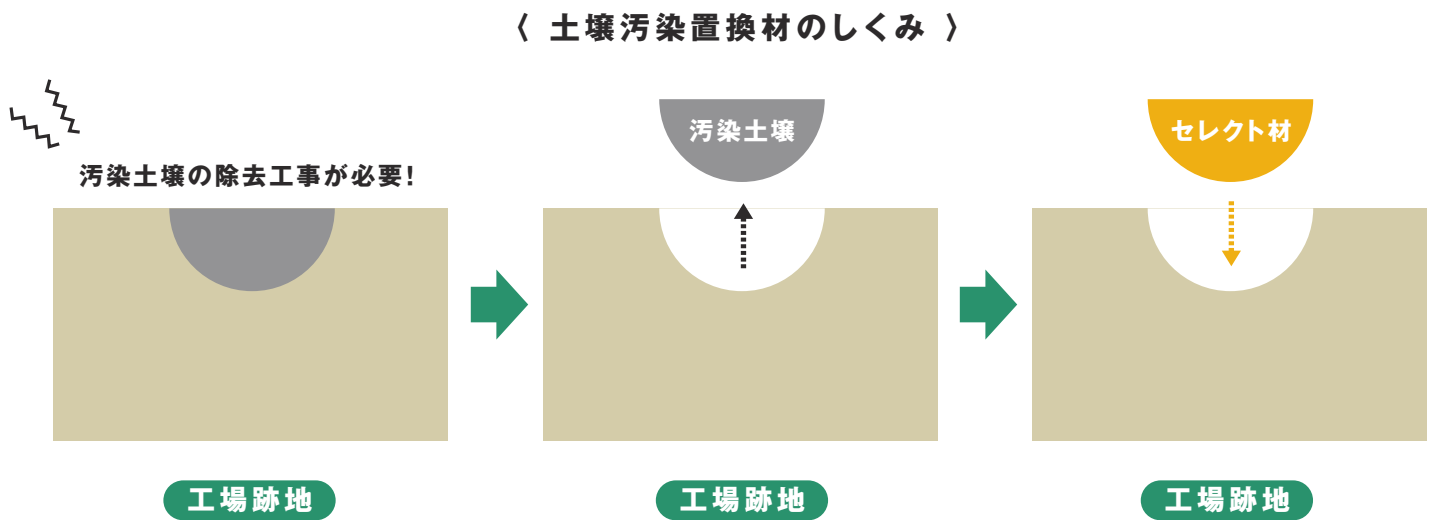
AFTER

国土交通省新技術情報システム登録済
(NETIS登録No.KK-040049-A)

限りある資源と共生するエコプロジェクト

土 壌 汚 染 置 換 材

いま、工場跡地などの再開発にともない、重金属、揮発性有機化合物などによる土壌汚染が心配されています。森組生瀬砕石所では、砕石原石採取の際に発生する表土部をセレクト材（埋戻・盛土材）として製造出荷しています。このセレクト材は汚染土壌の除去が発生した場合、その場所の埋戻材として最適な材料です。砕石原石と同じ場所から採取されるため、有害物質も含まれていません。また適度に砕石も含まれているため、よく締まるのも特徴です。



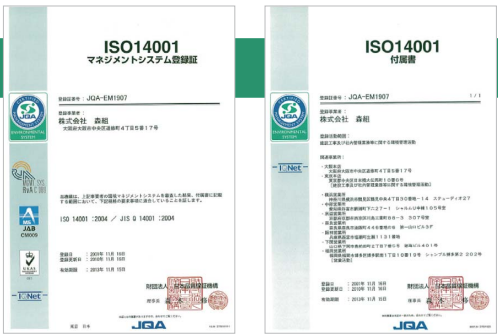
森組は2004年2月20日に環境省から土壌汚染対策法に基づく指定調査機関の指定を、同年8月25日には大阪府生活環境保全等に関する条例による指定調査機関の指定を受けております。

環境省指定調査機関 指定番号 環2004-1-100 / 大阪府指定調査機関 指定番号 大阪府H16-1-13

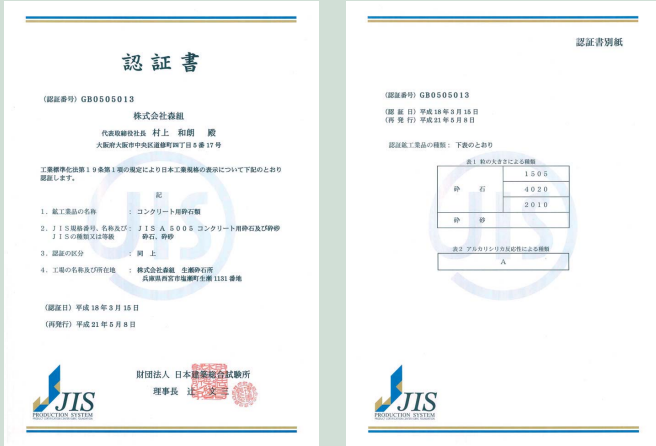
ISO14001の取得

環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001:2004を取得し、「環境方針」の定めのもと部門単位で環境目的・目標を達成し、全社をあげて環境保全活動を推進しています。

ISO14001登録証 ▶



骨 材 の 新 J I S 認 証 取 得



森組のコンクリート用骨材は 新JISの認証を取得しております。

森組生瀬砕石所は「コンクリート用骨材の砕石・砕砂」の新JISの認証を取得しております。旧JISは工場認定で製造設備が主な対象でしたが、新JISは製品認証のため、認証製品全てがユーザーと契約した基準値を満足しなければなりません。このため、今まで以上の品質の向上、製品の安定した供給、製造者の技術向上などが求められますが、森組砕石事業部はこれらの要求事項に積極的に取り組んでいます。

◀ 新JIS認証

森 組 の 中 期 環 境 目 標 と 結 果

森組では中期環境目標（2010年度～2012年度）として次の3つを定め、達成に向けて従業員一人ひとりの環境保全に対する意識向上に努めています。

CO₂排出量削減

環 境 目 標 と 結 果

二酸化炭素排出量を2003年度比2007年度以降3年間で13%以上削減する目標を設定し、部門毎に「低排出ガス対策機械の使用や電力使用の抑制」などの活動により、3年目の2009年度において目標値を達成しました。

廃棄物排出量削減

環 境 目 標 と 結 果

廃棄物排出量を2003年度比2007年度以降3年間で1%以上削減及びリサイクル率の1%以上向上する目標を設定し、部門毎に「分別排出や再資源化」などの活動により、3年目の2009年度において目標値を達成しました。

グリーン調達

環 境 目 標 と 結 果

グリーン調達を2007年度以降3年間で10項目以上実施すると設定し、部門毎に「再生資材の採用」などの活動により、3年目の2009年度において目標値を達成しました。



気山トンネル（舞鶴若狭自動車道）2010.6.12

JOY & JOY 喜びを行動に

人や地域とつながって、
広く貢献できるという喜び。

森組が、長きにわたって歩むことができた感謝の思いは、
地域社会に還元することで喜びに変わります。
地元のみなさまに安全・安心を直接確かめていただき、
子どもたちの好奇心や学ぶ気持ちを育てる現場見学会、
災害発生時に迅速対応するための緊急資材や機材配備など、
地域社会の安心や快適生活の一助になるよう努めています。

地域社会との交流と貢献

それぞれのコミュニティとともに歩む幸せ

地域社会に暮らすステークホルダーのみなさまと、地域の発展や子どもたちの安心して暮らせる町づくりを一緒に行なうことが、
私たち森組の担う社会貢献だと考えています。地域や社会のために貢献することだけでなく、共に育てることを大切にしたい、一人
ひとりの従業員がこの気持ちを心に各地で活動しています。また、信頼される企業として、幅広い事業活動での経験や利点を生かし
た分野でも、大きな役割を果たすべく貢献活動に努めています。

緊急資材の配備

森組では災害発生時の初期活動に迅速に対応するため、また環境破壊などの拡大を
未然に防ぐために、緊急資材を10ヶ所の地区に配備しています。この緊急資材は
地域住民・自治体等の緊急要請にも応えることができる体制を整えています。

- | | | | |
|----------|----------|---------|---------|
| ■兵庫県加東市 | ■兵庫県西宮市 | ■宮崎県日向市 | ■大阪府吹田市 |
| ■千葉県茂原市 | ■大阪市東淀川区 | ■大阪府松原市 | ■福井県敦賀市 |
| ■兵庫県たつの市 | ■大阪府堺市 | ■愛知県蒲都市 | |



災害時活動地域協定

森組はそれぞれの地域の要請に応じ、災害発生時の人命救助、被害調査、二次災害防止や復旧作業等の応急対策作業、仮設住宅の建設等に迅速に
対応するため、人員・重機・資機材等の確保を応援する協力協定を各地の複数自治体と締結しています。

地域社会とのコミュニケーション

作業所ではいつでも、人々の心に残る仕事を心がけています。

「社会貢献 献血」



バスの中で献血中

Report

【2011.7】「和久里他下部工作所」
社会貢献 献血

福井県小浜市において、日本赤十字社の事業活動でもある
「献血事業」に弊社の社員及び協力会社の職員が参加しました。

「現場見学会・職場体験」



実際の現場を体験！

Report

【2011.11】現場見学会 & 職場体験

大阪府松原市において、地元の方々に対する日頃の協力への
感謝を込めて、「現場見学会」と「職場体験」をして頂きました。

Communication!

〔責任ある社員育成〕

ACTION

7



JOY & JOY 働くことを喜びに

社員が生き生きしていると 企業ものびのび発展する。

企業にとっての喜びは、大切な財産である人材が育つこと。

一人ひとりがより大きな目標にチャレンジし

新たな価値を生み出すプロフェッショナルとなって、

個々の力を結集させれば、企業パワーもさらに向上します。

社員が、森組で働くことを喜びにできるような

環境づくりや人事制度、キャリア開発支援を行っています。

森組の人材育成

森組の人材は信頼と安全に繋がる財産です。

歴史ある企業として、私たち森組の人材育成に対する姿勢は大きな資産であると自負しています。社員が自由に発言でき、個人の希望が尊重される環境を整え、一人ひとりが生き生きと活躍できる企業であるよう取り組みを進めています。

人事制度

学歴・年齢・勤続年数による序列ではなく、部門と個人の成果、業務プロセス、職能を総合的に評価し、その結果に伴って昇格・昇給が決定されます。



人材育成

〔森組の人材育成の4つの柱〕

1

目標管理制度



個々の社員が所属部門の目標や戦略に応じて個人目標を設定し、その達成度及び実行力・努力を評価します。達成状況を自己管理する過程において上司とのコミュニケーションを図り、業務遂行レベルを引き上げていく教育制度です。

2

キャリアプラン制度

リーダー・スタッフ職を対象に、自身がやりたい仕事や配属されたい部署などを自由に申告できる制度です。建設現場への配属など建設業の特殊性はあるものの、可能な限り社員の意欲と能力に配慮した適性配置に努めたいと考えています。

3

教育研修制度

森組の教育・研修制度ではOJT（実際の職場で知識や技術を習得させる教育）を最重視しており、入社後3年間にわたって専属の「育成責任者」を任命し、新入社員の育成にあたっています。

新入社員研修・OJT	ビジネス常識、安全知識、業務関連の基礎的知識を修得し、社会人としての基礎能力を養います。
スタッフ研修	入社後6ヶ月と3年目の2回にわたって社外機関での研修を受講し、仕事へのモチベーションを高めます。
リーダー研修	L2級への昇格時にリーダー（中堅社員）としての知識や思考力を高めます。
マネージャー研修	M級への昇格時にマネジメントの基本と重要性を学んでいます。
社外セミナーへの参加研修	部門ごとに業務上必要な専門知識の習得のため、適宜受講しています。
人権に関する研修	人権に関する社外講習会に、様々な階層の社員が参加し、意識を高めています。
コンプライアンス研修	法令・社会倫理規範等の遵守、セクハラ・パワハラなどの予防に向けてeラーニングによる各種の研修を実施しています。
安全衛生研修	現場事故防止を目的とした効率のよい安全衛生教育を行うため、eラーニング研修を導入しています。

4

技能資格取得一時金制度

森組は社員一人ひとりの専門知識と技術力を向上させることが、会社力の向上に繋がると考えています。社員の技能資格取得を奨励するため、各種技能資格ごとに取得一時金（最高50万円）を支給しています。

森組の各種制度と取り組み

社内提案制度

社員の個性溢れるアイデアや企画が、新しいプロジェクト業務の効率化を生むのです。個人レベルでの発想を積極的に受け入れることができるよう、森組では社内提案制度を導入しています。社員は業務改善や企画書を会社に提出し、その内容と検討結果は速やかに社内公表されます。多くの社員の目に触れることにより、さらに多数の提案が実行され、またより多くの提案が反映されています。常に風通しの良い組織と活気のある職場を目指す森組らしい制度です。

女性が働きやすい職場環境づくり

森組では性別に関わりなく能力を発揮できる職場環境を整備し、社員の多様性を尊重した経営を行なっています。男女差別のない人事制度の導入やセクシュアルハラスメント相談窓口の設置、育児短時間勤務など、これまでの取り組みの成果として女性社員の職域も広がり、近年には2名の女性幹部が、又、2012年度新卒採用においては女性の施工管理職も誕生しました。今後も女性の能力発揮とキャリアプランが構築される職場作りを積極的に継続して推進します。

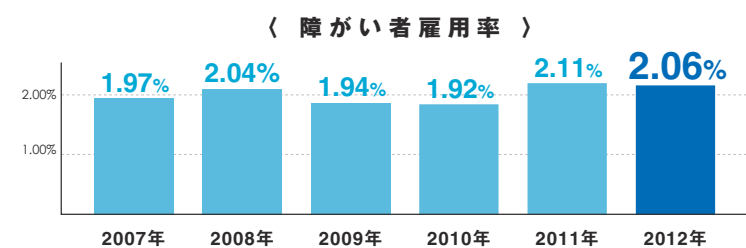
採用への取り組み

森組では関連法規を遵守した求人・採用活動を展開するため、公正採用選考人権啓発推進員を配置し、応募者の資質や長所を見出す視点に立った面接マニュアルを利用するなど、基本的人権を尊重した公正な採用を行ない、面接試験から採用内定通知までの期間を極力短縮し、志望者の精神的負担をできる限り軽減できるよう取り組んでいます。

また、意欲や能力を有する青少年に応募の機会を広く提供するため、学校等の卒業後3年以内の既卒者についても新卒者採用枠の応募対象としています。

2011年度 新卒採用実績	9名(技術系)
2012年度 新卒採用実績	10名(技術系)
2013年度 新卒採用予定	10名(技術系)

障がい者雇用への取り組み



障がい者の雇用において積極的な取り組みを行なっています。個々の個性を活かし、健常者と同じ職場で働くことを促進することが継続的な雇用に繋がると考えています。国が定める法定雇用率(1.8%)のさらなる向上を目指します。

60歳定年者の再雇用制度

森組では60歳定年を迎える社員の雇用確保措置として、2006年4月より継続再雇用制度を導入しています。この制度の導入で会社の指定要件を満たす社員が定年以降も継続して再雇用を望む場合、最長で満65歳に達する事業年度まで再雇用を更新することが可能となります。

労働時間の管理

社員の労働時間の適正な把握及び過重労働による健康障害の徹底防止を推進するため、勤怠管理システムを導入し、出退勤の時刻管理、時間外労働・休日出勤・休暇取得等の申請も同システムを利用し、パソコンでリアルタイムに管理しています。

森組の福利厚生

主な福利厚生

森組では法定の福利厚生制度(産前産後休暇、介護休業、育児・介護短時間勤務等)はもちろんのこと、独自の福利厚生制度を整備し、社員の生活を支援しています。

育児休業

子どもが2歳に達するまで
育児休業を取得することができます。
(法定は1歳6ヶ月まで)



子どもの看護休暇

小学校就学前の子どもがいる社員は、
有給休暇とは別に子ども一人について
年間8日の看護休暇が取得できます。(法定は5日)

半日有給休暇

社員の生活様式の多様化に対応し、
有給休暇が半日単位で取得でき、
効率的な休暇の利用が促進されます。



永年勤続休暇

勤続10年・20年・30年の社員が、有給休暇とは別に
特定休暇(2日～3日)を取得することができます。
また、勤続20年の場合は記念品が贈呈されます。

裁判員休暇

2009年5月21日よりスタートした裁判員制度により、社員
が裁判員・裁判員候補者として裁判所に出頭する際には、
必要な日数を裁判員休暇として取得できます。

社員の健康管理

心身ともにわたる健康管理は人的資源に頼る森組にとって
大切なテーマです。定期健康診断のほか、安価な人間ドック
の提供など、産業医と連携して社員の健全な日々を守ります。

厚生年金基金

森組では国の厚生年金制度だけでなく、さらに
年金が上乘せ支給される全国建設厚生年金基金に
加入し、社員の人生設計を援助しています。

社員貸付金

住宅購入資金、住宅補修費、医療・教育等の一時金、
大学授業料等の教育資金など、社員の資金需要に
応じて森組が低利での融資を行なっています。

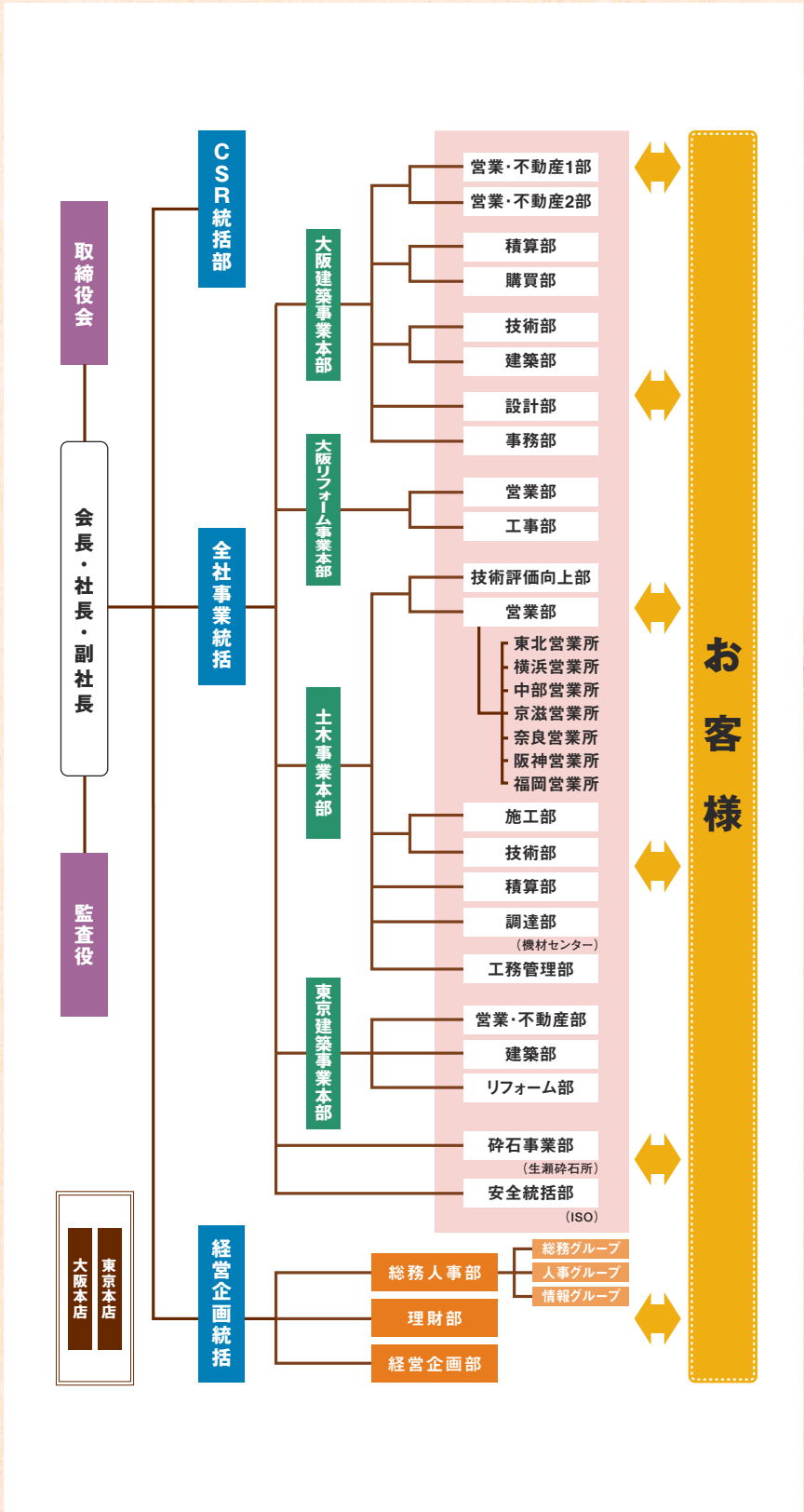
社員持株会

森組の社員は毎月の給与から一定額を持株会に
拠出することによって、まとまった資金が無くても
森組の株式を購入することができます。

〔 会社概要 〕

■ 社名	株式会社 森 組
■ 英文表示	Mori-Gumi Co.,Ltd.
■ 創業年月日	1899年6月8日
■ 設立年月日	1934年2月3日
■ 資本金	16億4,000万円
■ 営業種目	1) 土木建築その他附帯工事及び浄化槽工事の請負並びに 工事の調査、測量、設計、監理 2) 碎石、石材並びにその他の地下資源の採取、売買 3) 公害防止施設並びに機器の製造、販売 4) 岩石を材料とした二次製品の製造、販売 5) 不動産の売買、交換及び賃貸並びにその代理、仲介 6) 公共施設等の維持管理及び運営 7) 建築・土木資機材の売買
■ 従業員数	397名（2012年3月末日現在）
■ 営業許可	特定建設業許可 国土交通大臣許可（特-22）第2404号 一級建築士事務所登録 大阪府知事登録（ル）第2647号 東京都知事登録 第29576号 採石業者登録 兵庫県 第518号 宅地建物取引業者免許 国土交通大臣免許（11）第2241号

〔 組織図 〕



〔 主要取引先 〕

官公庁

国土交通省
農林水産省
独立行政法人 水資源機構
東京都
大阪府
大阪広域水道企業団
大阪市
京都市交通局
奈良県葛城市
奈良県田原本町
その他

民間企業

(株) 長谷工コーポレーション
阪急電鉄 (株)
(株) 阪急阪神百貨店
東宝 (株)
北大阪急行電鉄 (株)
能勢電鉄 (株)
神戸電鉄 (株)
神戸高速鉄道 (株)
(株) 阪急交通社
阪急バス (株)
大阪空港交通 (株)
阪急不動産 (株)
(株) 阪急阪神ホテルズ
阪急阪神ビルマネジメント (株)
レールウェイテクノロジー (株)
阪急設計コンサルタント (株)
大阪神鉄豊中タクシー (株)
東宝不動産 (株)
(株) 東京楽天地
東宝舞台 (株)
他阪急阪神東宝グループ各社

東日本高速道路 (株)
中日本高速道路 (株)
西日本高速道路 (株)
阪神高速道路 (株)
東京電力 (株)
関西電力 (株)
関西電力 (株)
大阪ガス (株)
大阪ガス住宅設備 (株)
(株) 大阪ガスファシリティーズ
東急不動産 (株)
コーナン商事 (株)
(株) ニトリ
三洋ホームズ (株)
パナホーム (株)
双日 (株)
三井不動産 (株)
神鋼不動産 (株)
(株) コスモスイニシア
(株) ライフコーポレーション
つるや (株)
日精興産 (株)
(株) アーベニング
京都ブライTONホテル (株)
大阪高速鉄道 (株)
創価学会
医療法人社団 緑水会
社会福祉法人 善光会
平和不動産 (株)
(株) エイビス
(株) クレアスライフ
新星和不動産 (株)
大阪港振興 (株)
(株) 中山製鋼所
積水ハウス (株)
(株) オーグニスボーツ
延原倉庫 (株)
(株) ソム・テック
(株) グローバル・エルシード
(株) 中央野煎餅
(株) 三栄建築設計
リスト (株)
(株) シティエステート
サムディ (株)
OS (株)
伊藤忠商事 (株)
近畿養老園 (株)
(株) 万代
伊勢原建物 (株)
(株) セロコーポレーション
三交不動産 (株)
(株) クボタ
(株) アーバネックス
名鉄不動産 (株)
(株) コクゴ
常盤ビル (株)
その他

順不同

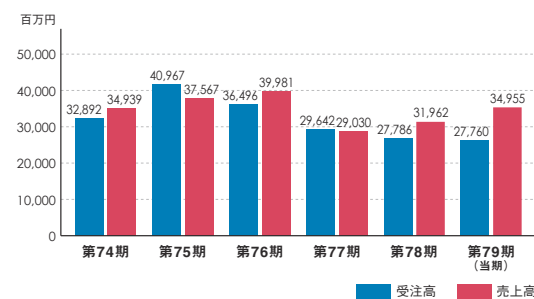
〔 IR 情報 〕

IR詳細ページ

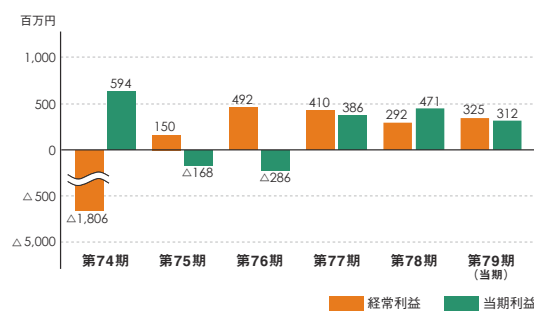
〔 沿革 〕

第79期
2011年4月1日～2012年3月31日

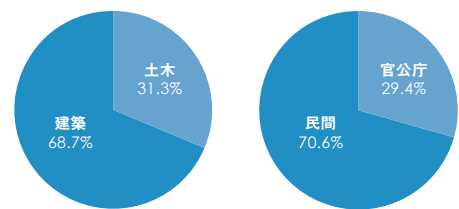
受注高・売上高の推移



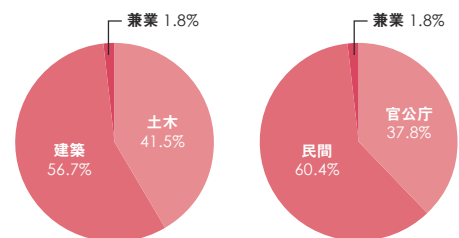
利益の推移



当期の部門別状況(受注高)



当期の部門別状況(売上高)



1899年6月 奈良県吉野郡において土木建築請負として創業

1931年5月 国分碎石所開設

1934年2月 個人企業を株式会社組織に改め、
資本金50万円をもって(株)森組を設立

1949年4月 生瀬碎石所開設

1949年10月 建設業法による建設大臣登録

1961年9月 東京営業所開設(1964年4月支店昇格)

1963年7月 大阪証券取引所市場第二部へ株式上場

1971年2月 宅地建物取引業による大阪府知事免許取得
(1976年7月建設大臣許可に許可換)

1971年11月 採石法による採石業者登録

1973年12月 建設業法改正により建設大臣許可を取得

1988年1月 東京本店設置(1996年6月 東京支店併合)

1990年12月 阪急電鉄(株)の関連会社となる
(第三者割当増資・資本金70億1300万円)

1994年6月 大阪本店設置

2004年8月 16億4000万円に減資

2007年5月 阪急電鉄(株)の関連会社から外れ、(株)長谷工
コーポレーションの関連会社となる
(阪急電鉄(株)から(株)長谷工コーポレーションへの
株式譲渡)

▼ ISO取得関係

1998年5月 ISO9002認証 東京土木にて取得

1999年12月 ISO9001認証 全社(碎石事業を除く)にて取得

2001年11月 ISO14001認証 全社(碎石事業を除く)にて取得

2002年11月 ISO9001 2000年版に改定

2005年12月 ISO14001 2004年版に改定

2010年5月 ISO9001 2008年版に改訂

〔 各支店・住所 〕

本 社 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17
TEL:06-6201-2763 FAX:06-6201-2768

大阪本店 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17 M&Mビル4F
TEL:06-6201-2762 FAX:06-6201-2769

東京本店 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町10-6 フォーリッチビル7F
TEL:03-3808-2071 FAX:03-3808-2077

東北営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-14-26 保坂ビル2F203号
TEL:022-722-8552 FAX:022-722-8553

横浜営業所 〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央4-30-14
TEL:045-500-1238 FAX:045-500-1268

中部営業所 〒498-0022 愛知県弥富市鯛浦町下六27-1 シャルムU中棟105
TEL:0567-66-0351 FAX:0567-66-0352

奈良営業所 〒630-8247 奈良市油阪町446-6 第一山口ビル3F
TEL:0742-20-5131 FAX:0742-20-5132

阪神営業所 〒669-1101 兵庫県西宮市塩瀬町生瀬1131
TEL:0797-87-9112 FAX:0797-87-8889

京滋営業所 〒615-8118 京都市西京区川島三重町88-3-307
TEL:075-382-1367 FAX:075-382-1368

福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-10-19 シャンプル博多第2-202
TEL:092-477-6711 FAX:092-477-6701

生瀬碎石所 〒669-1101 兵庫県西宮市塩瀬町生瀬1131
TEL:0797-87-9112 FAX:0797-87-8889

社機材センター 〒673-1462 兵庫県加東市藤田944-214
TEL:0795-42-8490 FAX:0795-42-8491

株式会社 森 組

<http://www.morigumi.co.jp>